



カーボン・オフセットフォーラムは、代々木公園で開催（6月7日、8日）されたエコライフ・フェア 2008 において、環境省ブースへの出展を行い、カーボン・オフセットの仕組みの説明や、国内外の取組事例紹介を行いました。（会場全体来場者 約 6,7000 人）



エコライフ・フェア2008 アンケート集計結果

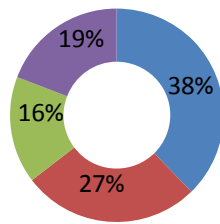
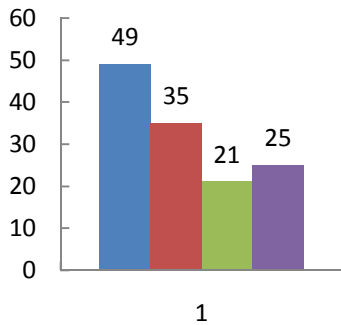
配布：エコライフ・フェア2008 (代々木公園)
2008年6月7日(土),8日(日)

(社)海外環境協力センター(OECC)内
カーボン・オフセットフォーラム(J-COF)

アンケート回収枚数：125

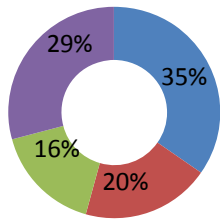
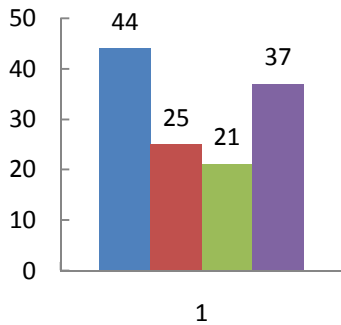
| 質問 | 回答集計結果 | |
|---|----------|---|
| 1. 気候変動は人間の活動から生じる温室効果ガスが原因であるとほぼ断定されており、すでに温暖化や海面上昇等により人間の生活に影響が出始めていることをご存知ですか？ | <p>1</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 知っている ■ 聞いたことがあり何となく知っている ■ 聞いたことがあるが詳細は知らない ■ 聞いたことがなく知らない |
| 2. 次のどのような気候変動対策が最も有効だとお考えですか？ | <p>1</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 有効で確実な気候変動対策への支援 ■ エネルギー利用節制などのコマメな削減努力 ■ 省エネルギー製品等技術による解決 ■ 植林 ■ 生活様式の変更 |
| 3. あなたは自分自身の活動から生じる温室効果ガスの排出を減らさなければいけないと思いますか？ | <p>1</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 思う。常に努力している ■ 思う。時々実行している ■ 思うが、実際には何もしていない |
| 4. 削減努力をしても、どうしても削減できない温室効果ガスの排出に対してどのようにお考えですか？ | <p>1</p> | <ul style="list-style-type: none"> ■ 自分の排出については自分の責任で埋め合わせしたい ■ カーボン・オフセットにより、実質的に温室効果ガス排出がゼロになっている商品やサービスを選択する ■ 排出削減努力を行っているものであれば温室効果ガスの排出はやむを得ない ■ 排出削減努力の有無よりも価格やサービスの方が重要であり、気候変動は自分の責任ではない |

5. 途上国において温室効果ガスを削減するプロジェクトに投資する国連の仕組み（CDM：クリーン開発メカニズム）があるのをご存知ですか？なお、CDMには途上国の人々の暮らしを改善する効果があります。



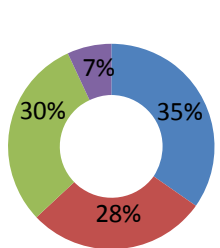
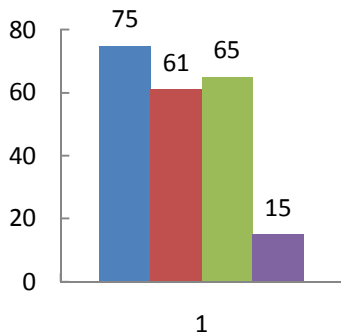
- 知っている
- 聞いたことがありなんとなく知っている
- 聞いたことがあるが詳細は知らない
- 聞いたことがなく知らない

6. カーボン・オフセットによりCDM等の確実な排出削減活動に資金が提供され、これらの活動が促進されることをご存知ですか？



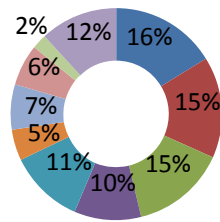
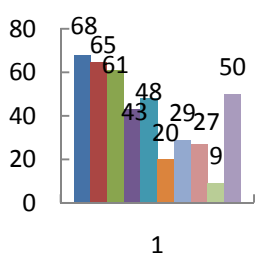
- 知っている
- 聞いたことがありなんとなく知っている
- 聞いたことがあるが詳細は知らない
- 聞いたことがなく知らない

7. 排出削減に寄与する活動としては以下のどれに興味がありますか？（複数回答可）



- 途上国における温室効果ガス削減プロジェクト（CDM等）
- 国内における温室効果ガス削減プロジェクト
- 国内における再生可能エネルギー（グリーン電力証書）
- 自ら植林を行う

8. カーボン・オフセットの仕組みを改善するためにはどうすればいいでしょうか？（複数回答可）



- 商品・サービスのオフセットに係る情報提供
- オフセットによる排出削減を第三者が証明する仕組み
- オフセットラベル等の消費者に分かり易い仕組み
- オフセットに伴う排出削減プロジェクトの仕組み
- オフセットの仕組みの普及啓発活動
- オフセット付商品・サービスの消費者特典

【その他のご意見・ご要望】

- ・人類が生き延びるための重要なテーマであるが、カーボン・オフセットについて知る人が少ないのではないかと、もっとPRに力を入れるべき。
(70代・男性・年金生活)
- ・日産自動車は自動車購入時のオフセットを始めた。一年走行何km分相当のオフセットか忘れてしまったが、このようなことがすぐ判るよう情報提供する仕組みがあればいいと思う。
また、一年に一度の有効な商品に対する政府による表彰制度があれば良いと思う。(例：省エネ大賞)
(50代・男性・会社員)
- ・カーボン・オフセットがCO2削減に繋がる国際的なルールが必要だと思う。
(50代・男性・会社員)
- ・カタカナを多用することが普及に繋がらない。目標値や目的を明確にし、エコ＝お金がかかることを示すべき。
(30代・男性・会社員CSR担当)
- ・カーボン・オフセットも大事であるが、原生林・森林の再生が最優先であると考えている。
(60代・男性・パートアルバイト)
- ・カーボン・オフセットはお金がかかる仕組みなので、個人・企業の取り組みに対する政策的支援は欠かせないと思う。
(10代・男性・学生)
- ・日本としてのCO2削減努力はもちろん必要であるが、大量排出企業（部門）が海外に移っただけでは、日本全体としての削減がなされていないし、国内での雇用を喪失していきただけで無意味であると考えている。抜け道のない政策をとってほしい。
(50代・男性・自営業)